

第2回「三世代をつなぐ 駒カフェ」2021/7/12開催の報告

2021年7月12日（月）13時00分～15時00分、第1会議室において、在校生～保護者～OB 世代間 交流プロジェクト 第2回「三世代をつなぐ 駒カフェ」が開催された。開催日は、中学生が前週の金曜日、高校生が土曜日に期末試験が終了して全校生徒が登校しない日のため、前回同様、何人参加してくれるだろうかとスタッフは不安を抱えての開催となった。

参加者 11名（中1：8名、中2：2名、高1：1名）、

参加者の感想

- ① いろいろな事について聞いて、自分にも生かせそうなことを聴けて良かった。また行ってみたい。
- ② 気ままに話すことで気持ちが楽になった。また来たい。さらにジュースをもらえて嬉しかった。
- ③ 休憩もできるし、経験豊富な先輩たちと話せたため良かった。まだまだ続けて欲しい。
- ④ 勉強が手につかないと相談したら、今は中学受験で出し切っているからあまり出来ないのではないかと答えてもらえ、自信ができました。不安なことができたら、駒カフェに来たいと思います。ありがとうございました。
- ⑤ 部活、勉強で疲れた後にゆっくりできてよかった。自転車登校と勉強について話した。
- ⑥ 世代を超えて今までの様々な経験を通じて、自分とはまったく違う視点から見た考え方に触れることができ、とても貴重なお話を聴くことができた。これから社会で生きていく中で、本当に大切なことを教えてもらったなと思います。ありがとうございました。
- ⑦ 面白く話ができ楽しかった。また話したいと思った。



OB スタッフの感想

- ① 今日は、とても貴重な時間を過ごすことができ、ありがとうございました。事前のエントリーが1名ということもあり、「駒カフェ開店中」と大きく書いたポスターをかざして、登下校する駒東生に呼び込みを行いました。見知らぬ年寄りになにか怪訝そうな顔をする生徒もいましたが、卒業生であることや平野先生もおられること、そして、飲み物の無料提供もあることを伝えると、時間の都合のつく生徒は、なんにんかで誘い合って入室してくれたようでした。そして、約60年という圧倒的年齢差のあるわれわれと、権威主義的な分け隔てもなく、自由に対等に話せる場であることを、

参加した生徒のほとんどがたのしんでくれたような印象でした。こうした世代を超えたふれあいを通して、駒東生が社会の多様な状況を踏まえた自立を目指すきっかけになってくれたらうれしいと思いました。

- ② 今日の話は、赤緑色盲での苦労話と諦めずに頑張れば、最後には目指した事が出来たこと。ゲームに関する親子の話 → 交渉相手は、親でも子供でもなく、将来の自分と今の自分の交渉だということ。多様性、グローバル化などの重要性。大学はゴールではなく、中間地点に過ぎない。大学を選ぶ時は、自分が専攻したい学問に関し、その時点で最高の教育ができる教授、大学を選べれば良いのだが・・・などでした。
- ③ 今日の生徒は、高一であり、理解力もかなり高く、熱心に話を聞いてくれました。感想文もしっかりと書いていました。今日だけでは話しきれない事が多く、何度も気楽に話に来てくれたらと思っています。その為の工夫を重ねていきましょう。
- ④ 第二回駒カフェでは 参加してくれる生徒たちが気持ちよくリラックスして話をしてくれるような雰囲気を作りたい。そんな気持ちで当日を迎えた。集まってくれたのは11人 みんなの話を十分に聴くことはできなかったがいい雰囲気だった。次回から色々工夫していきたい。話をできた生徒はみんな賢くて素直で理解力が高く 自慢できる後輩たち 駒東生たちだった。悩みや不安・不満の話はでなかったのは そんなものは全くないのか あの場では話しにくかったのか？
- ⑤ 青年期いろいろ悩み挫折してそれを乗り越えて大人になる。“乗り越える”精神力や基礎力 もろもろの経験を積んで成長してほしい。我々はそれを応援したいと思った。
- ⑥ 予約が1名でしたが、結果的には11名の参加があったのは、良い誤算でした。今回は、中1、中2の生徒さん4名との会話でした。かなり明確に将来の方向を決めている1人と未定の3人でしたが、真理を探究する姿勢と熱意がみなぎっている若さを感じました。
- ⑦ 中学の皆さんが、コロナ禍で外に出られない時、電子ゲームに時間を使っているとのこと。電子ゲームに集中できるのなら、学問や人の交流なども含めた人生ゲームにも集中できる？ なぜ、将棋は9×9？ 人生ゲームの盤面は？ まだ（私が）解けていない数独の問題を見て興味津々。論理を導くことに期待。私にとっても楽しい会話の一時でした。もっと皆さん個々のお話をお聞きしたかったです。ご参加いただき、ありがとうございました。
- ⑧ 生徒さんの感想にある、「違った視点から見た考え方に触れ・・・」「面白く話げできた」「気持ちが楽になった」「不安なことができたなら駒カフェに来たい・・・」などから、今後の駒カフェに期待を持ちました。



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠（駒場東邦7回生 / 前スクールカウンセラー）

平野 勲（駒場東邦中学高等学校 特別顧問 / 前校長）

連絡先 komacafe1540001@gmail.com